

# かけはし



全国自治体病院協議会・賛助会広報誌  
<http://www.jmha-p.net/>



撮影:賛助会 第1ブロック 平野武信氏

公益社団法人 全国自治体病院協議会と共に49年

## 全国自治体病院協議会・賛助会

当賛助会は、公益社団法人 全国自治体病院協議会への協力と自治体病院の発展に寄与することを目的としています。

### 第1ブロック 医療機器部門 (27社)

協和医科器械(株)  
グリーンホスピタルサプライ(株)  
(株)グリーンメディカル  
コヴィディエンジャパン(株)  
ユニカミノルタジャパン(株)  
サカセ化学工業(株)  
サクラ精機(株)  
GEヘルスケア・ジャパン(株)  
シーメンス・ジャパン(株)  
シスメックス(株)  
(株)島津製作所  
すみれ医療(株)  
(株)タカラゾノ  
(株)千代田テクノル  
テルモ(株)  
日機装(株)  
ニプロ(株)  
日本光電工業(株)  
(株)日立製作所  
(株)フィリップスエレクトロニクスジャパン  
フクダ電子(株)  
富士電機(株)  
富士フィルムメディカル(株)  
(株)ホギメディカル  
美和医療電機(株)  
村中医療器(株)  
(株)理舍

### 第2ブロック 設備部門 (31社)

アーパス技研工業(株)  
(株)IHI汎用ボイラ  
(株)AiHO  
アイドン(株)  
アクアス(株)  
アズビル(株)  
(株)アルミックス  
(株)イトーキ  
(株)S&Sエンジニアリング  
(株)荏原製作所  
(株)岡村製作所  
(株)ケアコム  
コクヨ(株)  
斎久工業(株)  
(株)三晃空調  
三建設設備工業(株)  
シーホネンス(株)  
(株)スローライフジャパン  
(株)セントラルユニ  
ダイキン工業(株)  
ダイアン(株)  
高砂熟熱工業(株)  
(株)日本シーター  
日本調理機(株)  
(株)パートナ  
バラマウントベッド(株)  
不二サッシ(株)  
(株)フジマック  
フランスベッド(株)  
文化シヤッター(株)  
YKKAP(株)

### 第3ブロック 設計建築部門 (25社)

(株)梓設計  
(株)石本建築事務所  
(株)伊藤喜三郎建築研究所  
(株)奥村組  
鹿島建設(株)  
(株)教育施設研究所  
(株)楠山設計  
(株)久米設計  
(株)佐藤総合計画  
(株)昭和設計  
(株)大建設計  
大成建設(株)  
(株)竹中工務店  
(株)田中建築事務所  
(株)内藤建築事務所  
西松建設(株)  
(株)日建設計  
(株)藤木工務店  
(株)フジタ  
(株)松田平田設計  
三井住友建設(株)  
(株)村田相互設計  
明豊ファシリティワークス(株)  
(株)山田綜合設計  
(株)横河建築設計事務所

### 第4ブロック 製薬部門 (12社)

エーザイ(株)  
大塚製薬(株)  
協和発酵キリン(株)  
興和(株)  
参天製薬(株)  
大鵬薬品工業(株)  
武田薬品工業(株)  
田辺三菱製薬(株)  
東和薬品(株)  
日本ケミファ(株)  
Meiji Seika ファルマ(株)  
持田製薬(株)

### 第5ブロック 資材サービス部門 (35社)

損害保険ジャパン日本興亜(株)  
大日商事(株)  
トータルメディカルコンサルタント(株)  
(株)ニチイ学館  
(株)日本経営戦略人事コンサルティング  
日本調剤(株)  
日通旅行(株)  
日立メディカルコンピュータ(株)  
富士産業(株)  
ベストワールド(株)  
(株)丸井工文社  
(株)メディネット  
八尾医療PFI(株)  
(株)薬栄  
(株)ヤマシタコーポレーション  
(株)ライフケアパートナーズ  
ワタキューセイモア(株)  
(株)ソラスト

総会員数130社 2016年9月1日現在

※各会員企業へのご連絡・ご相談は…

下記URLよりご確認下さい

全国自治体病院協議会・賛助会

ホームページ <http://www.jmha-p.net/>

平成28年度三役会社

会長会社  
副会長会社(会計)  
副会長会社(総務)

(株)伊藤喜三郎建築研究所  
(株)日立メディカルコンピュータ(株)  
(株)エヌジェシー

### 自治体病院とともに49年

#### 理念

公益社団法人自治体病院協議会と自治体病院の発展に寄与することを目指します

- 協議会と協議会所属病院が行う事業に対し協力します
- 会員を対象とする研修会等を実施します
- その他本会の目的達成のため必要な事業を行います

#### 会員

病院事業に関わる事業を営む者で本会の主旨を十分に理解した法人です

#### 巻頭

公益社団法人全国自治体病院協議会  
中川 正久 副会長 インタビュー

#### 新入会社紹介

#### 新たに加わった5社の紹介

賛助会活動報告／賛助会会員名簿

# 中川 正久 副会長 インタビュー (島根県病院事業管理者・島根県参与)



聞き手：全国自治体病院協議会・賛助会  
伊藤誠 会長  
渡辺孝浩 広報委員

## ■副会長就任と業務について

今日はお忙しいところお時間を作っていただきありがとうございます。

早速ですが、中川副会長は全国自治体病院協議会の要職に就かれて長い間ご活躍されていらっしゃいますが、副会長職はどれぐらいやられていらっしゃるんですか？また、副会長職の業務内容を教えてください。

## 中川副会長

平成18年から4年間常務理事職を務めて、平成22年に副会長に就任しました。邊見会長とは同窓だったので、だから副会長になったと周りから言われないように、というのが一番感じたプレッシャーかな。常務理事の時は、自分が置かれている立場で言えばよかったですけれど、副会長だと全体を考えて言うべきことや、言ってはいけないこと、あるいはここは言つていいという判断をしなくてはならないから、常務理事のときより責任が大きいのかなというのは感じましたね。そのようなことも含めて副会長としてやっぱり邊見会長を支えると同時に、邊見会長に対してしっかり意見を言うことが同窓である僕の強みだと思ってます。

協議会の業務に関しては、それぞれの担当はあるけれども僕はあんまり担当を意識したことはないですね。

皆さん、病院長になるまでに結構同じ思いをしているから、それぞの立場でやるべきことは違うというのを分かっているんですよ。ただ自分の役割としては、事務長部会と薬剤部長部会の取りまとめが大きいでしょうか。あとは経営担当とか。僕が勤めている島根県立中央病院では

## 賛助会は協議会の発展と地域医療確保のために一緒に頑張っている仲間

電子カルテでネットワークやってるから、医療情報関係とかも主な業務になってます。

## ■賛助会に対して思うこと

常務理事、副会長と役員をずっとやられていらっしゃる中で、中川先生からごらんになって賛助会に対する見方や賛助会に対して何か変わってきたようなところってございますか？また、どのように賛助会を捉えてられて、今はどのように考えていらっしゃるか教えてください。

## 中川副会長

うちの病院（島根県立中央病院）では統合運用と言っていますが、業者さんと一緒にになって病院を作ってきたという歴史があるんです。業者としてではなく、病院の職員と同じ意識を持って一緒にいいものを作ろうと。だから、僕は副会長で、あなたたちは賛助会という分け隔てた感覚がないんです。要するに協議会の発展と地域医療確保のために一緒に頑張っている仲間という意識です。だから、これからは協議会と賛助会がそれぞれ顔の見える関係をつくって、自分が感じたことや自分の仕事以外での意見が賛助会からどんどん出てくるような、そういう関係が欲しいなと思っています。いろんな業者の人がいて、いろんな情報を持てる人がいて、協議会とか自治体病院に対しても様々な考え方、感じ方を持っている人の意見をもらえるなんていふるのは、凄いことないじゃないですか。それは全てに活きてくると思うんですよ。我々の勉強にもなるし。だから賛助会と協議会がもっとやっぱり近づかないといけない。要は賛助会の皆さんには私にとって仲間という感覚しかないんです。

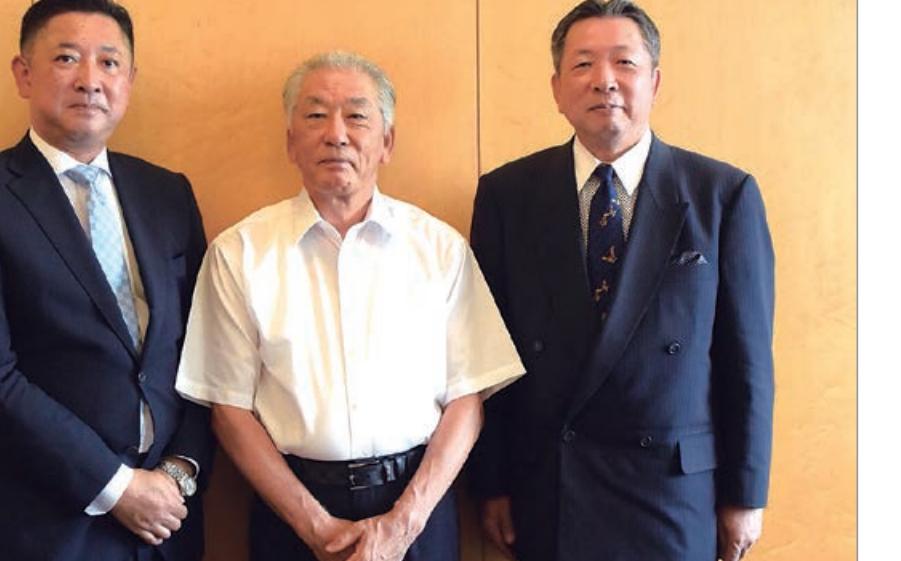
## ■県立中央病院の役割と使命

中川先生が従事されている島根県立中央病院は、島根県全体の医療の中心ですからいろいろとお骨折りする場面もあると思いますが。

## 中川副会長

僕は地域医療支援を一つの柱にしたんです。島根県の場合は、うちの病院がある出雲市の隣に大田市があるのですが、その大田市の西側には自治体立の病院がないのです。また隠岐諸島といった離島もあります。なので、高度救命救急センターとしての救急医療の提供と、基幹病院ですから高度特殊医療、それともう一つが地域医療支援。これは3本柱であって順番はありません。例えば隠岐諸島との画像伝送システムを作ったりしました。それと、病院事業管理者として島根県の医療政策も県の行政と二人三脚でやらないといけません。だから、僕の名刺には病院事業管理者と同時に島根県参与という肩書がついています。

また、県民の診療情報を地域の医療機関で共有する「まめネット」は、厚生労働省から非常に高い評価をいただけています。ドクターへりの運航もそうなんですが、地域医療をどう支援していくかという手段が重要だと考えてます。ドクターへりの運航は中国地方5県で捉えていて、患者さんに近いところから呼ぶようになっています。ドクターへりがないときは防災ヘリを使って患者さんを搬送していきます。うちの病院では、年間700件くらいだから、1日2回ぐらいいはドクターへりが飛んでいるんですよ。



## 「成り立ち」

当全国自治体病院協議会・賛助会は全国自治体病院協議会が1962年4月に設立されたのを受け、自治体病院の発展に寄与することを目的とし、1968年7月17日に病院関連の有志企業によって結成されました。

現在は130社（2016年9月現在）が加入し協議会会員自治体病院に対し医療にかかる情報の提供、業務改善提案、学会、研究会、講習会、展示会等に対する協力等の事業を行っています。又、様々な行事を通じ会員相互の向上を図るために活動も積極的に行っています。

## 主な活動

- 1 定時総会(年次活動報告、収支報告、監査報告)
- 2 協議会との意見交換会
- 3 研修会(講演会、病院見学会等)
- 4 新春賀詞交歓会
- 5 全国自治体病院学会や地方学会への参加
- 6 協議会との情報交換会(協議会に対し最新事例や業界最新動向・情報を発信)
- 7 寄付活動(協議会及び学会へ)

平成28年6月30日(木)  
意見交換会



会場:剛堂会館(東京都)  
賛助会から多数の会員会社が出席し、協議会の方々と活発に意見が交わされました。

平成28年7月20日(水)  
平成28年度 役員会



会場:剛堂会館(東京都)  
定期的に役員会を開催。新入会した会社の紹介も行われていました。

平成28年9月15日(木)  
平成28年度 第1回研修会



会場:ホテルおかだ(神奈川県)  
研修会では、協議会参与 末永裕之先生より講演をして頂きました。  
研修会には、賛助会から多数の出席者を始め、全国自治体病院協議会、株式会社自治体病院共済会からも出席を頂きました。

